



つとむ通信

ともに変えよう富津の未来

ともに創ろう富津の未来

千葉県議会議員 渡辺つとむ事務所

千葉県富津市千種新田375-5

TEL 0439-65-0526 FAX 0439-65-0683

e-mail tsutomu364@rondo.plala.or.jp



ホームページ

政策討議資料

No.35 令和7年春 活動報告

自由民主党所属千葉県議会議員 渡辺つとむは、令和7年2月議会で予算委員会委員を拝命いたしました。今回は、所属する県土整備常任委員会にて審議した地域課題等の内容と、予算審査特別委員会を中心に報告をいたします。ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。

2月議会予算委員会



▶ 少子化対策について

問 少子化が進み人口減少が加速する中、課題の一つに子育てと両立しにくい職場環境があると言われている。国では、男女が共に仕事と子育てを両立できる職場環境の整備を進めるため、育児・介護休業法の改正を行い、今年4月から段階的に施行されることになっている。これにより、例えば3歳までの子どもがいる従業員が、テレワークを選択できるようにすることなどが事業主の努力義務となった。県内でこの取り組みが着実に進むように周知を図っていくことが必要だと考える。「改正育児・介護休業法」の施行に向けて県ではどのように周知啓発を行っているのか？

答 育児・介護休業法の改正に伴い県では、千葉労働局と連携しながら広報誌やポスター

などによる周知を進めている。また、県民向けの労働大学講座において法改正を取り上げているほか、企業に向けては法改正で求められる対応をわかりやすく整理して解説するとともに、従業員がより働きやすくなるポイントを紹介するセミナー動画を配信するなど、周知啓発に取り組んでいるところ。

問 この問題について、地域の中小企業では、都市部の大企業と比較すると、女性が結婚、出産後に職場復帰しやすい環境整備への取り組みが進んでいない現状がある。仕事と子育てを両立できる環境が整っていることで、若い世代の地元回帰の意識も高まり、その結果地域で出産する女性や子育てを希望する若者の定着が期待される。地域経済を支える中小企業はそのような環境が進むような環境づくりをすべきだ。そこで伺うが、中小企業において女性の働く環境の改善が進むよう、県ではどんな取り組みをしているのか？

答 中小企業でも、性別などにかかわらず、どのような人でも柔軟な働き方ができる職場環境づくりが進むよう、支援制度の導入や男性の育休取得促進などの取り組みを促している。また、中小企業に専門家を派遣し、制度の導入に向けた課題の整理から就業規則の

改正、運用後のフォローアップまでの伴奏支援を行っている。令和7年度は研修会動画の配信や専門家派遣数を増やすなど、取り組みを強化し働きやすい職場環境づくりを支援していく。

要望 少子化の進行が地域に与える影響は非常に大きい。女性や若者の地元への回帰や地域への定着は少子化に対応していくためには大変重要だ。中小企業の働く環境の改善に一層の努力を要望する。

➤ 水産業について

問 ブルーカーボンの推進について伺う。本県沿岸域では、魚介類の生息場や漁場として重要な藻場が長期的に消失する「磯焼け」が問題となっている。一方海藻などが吸収・固定した二酸化炭素由来の炭素は「ブルーカーボン」として、新たな地球温暖化対策として期待されている。磯焼け防止対策に加えて、ブルーカーボンの取り組みを進めることは、漁場環境の改善や農業生産の向上に大きく寄与するものだ。そこで伺う。ブルーカーボンの推進についてどのように取り組んでいるのか？

答 県ではブルーカーボンの創出と漁業生産性の向上を図るため、コアマモ群落の適切な管理やアサリ資源の増産に係る実証実験などに取り組んでいるほか、千葉県ブルーカーボン推進協議会を核として、漁業者と民間企業等が連携した取り組みを進めている。

問 水産総合研究センター種苗生産研究所富津生産開発室の施設再編整備を進めているとのことだが、水産資源が減少している中、県などが行っている種苗放流は漁業者からは、大変役立っているとの声を耳にする。そこで伺うが、水産総合研究センター種苗生産研究所 富津生産開発室の再編整備事業の進捗はどうか？

答 富津生産開発室については、昨年8月に実施設計が完了し、令和6年度中にマダイやトラフグの種苗生産を行う新たな飼育棟の建築工事に着手する予定。令和9年度の完成を目指し事業を進めて行く。

問 水産総合研究センター東京湾漁業研究所の再編整備の進捗は？



答 昨年11月に新たな本館棟及び車庫・倉庫棟など一部施設が完成し、現在旧本館棟や旧倉庫棟などの解体工事を行っている。令和7年度は新たな実験棟及び機械室の建築工事に着手し、令和8年度の完成を予定している。

要望 今後の水産業を支えるため、研究機能の高度化や種苗生産体制に維持・強化を図っていただきたい。



➤ 県立都市公園「富津公園」について

問 県立富津公園は市を代表する絶景として「明治百年記念展望塔」からの景観や公園内に多くある近代遺構を巡るヘリテージングツアーも人気を集めており、重要な観光資源となっている。また、実業団や大学の駅伝チームなど、多くのランナーのトレーニングの場でありテニスコート・屋内温水プールは、県民の健康増進、憩いの場としても活用されている。

富津公園の持つポテンシャルを生かした再整備計画が進んでいるが、魅力向上や利用促進につながり利用者のニーズに合った公園の再整備につながると期待している。そこで伺う。県立富津公園の再整備に向けた現状はどうか？

答 これまで「再整備に向けた基本方針」を策定し、それに基づき民間事業者にサウンディング型市場調査を実施のうえ検討してきた。検討委員会から様々なご意見をいただき計画案を策定したところだ。

問 今後の取り組みはどうか？

答 今後は再整備計画案に基づき、事業化に向けた事業スキームや施設整備の条件等の検討を進め、事業者ヒアリングも行いながら、民間事業者がより参入しやすい条件等を整理するなど、公募に向け取り組んでいく。

要望 この公園は富津市を代表する観光スポットであり、参入を検討している事業者からも高い評価を得ている。観光・スポーツ・憩いの場として魅力あふれる公園の再整備に邁進していただきたい。

❖ 参入検討中の事業者から、「大いに魅力あふれる公園になるポテンシャルがある。」と、渡辺自身も、直接感想をいただきました。地元の人も愛着を持てるような公園になることを期待し、今後も活動を続けてまいります。



➤ 県立高校改革推進プランについて

問 県教委が策定した「県立高校改革推進プラン」では、中学校卒業生が減少する中、活力ある教育活動維持のため、適正規模・適正配置の観点から、10組程度の統合を見込み、地域における学校の在り方などについて、地域関係者などから意見を聞く「地域協議会」を県内を15か所に分けて実施していると聞いている。富津市を含む地域ではまだ、地域協議会が実施されておらず今後が気になるところだ。来年度以降に実施されるとのことだが、地元富津市にある2校の県立高校の現状も課題が多いと感じている。天羽高校はここ数年、入試時の「志願者確保」に苦慮しており、君津商業高校は、7年度の募集において学級が減という状況にある。そこで伺う。

問 現在の天羽高校の学びの状況はどうか？

答 平成24年から、地域連携アクティブスクールとして、「学び直し」や「実践的なキャリア教育」を通じて自立した社会人の育成を図っている。令和2年度には、工業基礎コースを設置し、地域人材の育成に努めている。

問 君津商業高校の学びの現状はどうか？

答 君津商業高校では、多くの生徒が高度な資格を取得しており、質の高い学びを提供している。昨年度は地元と連携した商品開発等が評価され、「全国商業研究発表大会」(商業高校の甲子園)に出場し、「優秀賞」を受賞するなど、地域と連携した教育活動を実践している。

要望 今後も地域の特性や実情を踏まえて、魅力ある県立高校づくりに取り組んでほしい。

県土整備常任委員会

➤ **問** 国道 465 号の富津市千種新田地先では幅員狭小で屈曲した箇所があり、千種新田バイパスの整備が進められている。バイパスが完成すれば津波・高波により浸水のおそれがある沿岸部からの緊急避難路としても重要な役割が期待されている。この道路の進捗状況はどうか。

✧ **答** いわゆる千種新田バイパスは、延長 950 メートルの整備を実施している。これまでに西側(海側) 220mの整備が完了している。残る市役所側 660mの県施行区間では、一部地盤改良工事と排水路の整備が完了し、今後は橋梁の下部工事に着手する予定。

➤ **問** 県道小櫃佐貫停車場線(佐貫から鹿野山マザー牧場方面に上がる県道)の現道拡幅工事については、観光地へのアクセス道路として重要だが、山間部でもあるため非常に狭く、大型観光バスは大変苦勞して走行している。順次工事が進められている状況だが、現状の進捗と今後の予定はどうか。

✧ **答** 鹿野山から富津市桜井地先まで 2.6 キロメートル区間について現在整備を進めている。残る内、1.1 キロメートル区間では、令和 6 年度から道路改良工事に着手している。

要望 早期完成に向けて、確実に整備が進むよう要望する。

活動報告

☆令和7年1月2日 新年一般参賀で皇居に参内。人が多くて驚きました。



✧ 自民党総裁選挙が終わって、県議会同僚、先輩たちと小林鷹之氏を囲んで。



✧ 3月の千葉県知事選挙は低投票率ながら圧倒的得票率で現職の勝利。引き続き県政を担っていただきます。(身長差が激しい!)



渡辺つとむプロフィール

昭和36年4月25日 富津市千種新田生れ
県立木更津高校卒
立教大学経済学部卒(弁論部出身)
工学院大学専門学校建築科研究科卒
藤和不動産(株)財務部に勤務後
現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役



元富津市議会議員(令和2年～令和3年)
富津市バドミントン協会会長
富津市国際交流協会副会長
富津市スポーツ推進委員
令和5年4月 千葉県議会議員当選
千葉県議会 県土整備常任委員会副委員長
千葉県議会 議会運営委員会委員
千葉自民党政調会 委員